真宗大谷派
浄恩寺
LINE　QR コード

令和６年　　１２月　　第４７５号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

「報恩講」楽しくお勤めしました。

本堂の整備に一ヶ月かけ、十一月二十三日に、約四十名の方々と共に勤行、法話聴聞致しました。

正信偈のお勤めは、いつもと違うので、恐る恐るの唱和でした。

音程は高く、抑揚も複雑ですが、慣れてくると耳に残るフレーズです。コロナ警戒で、皆様とはしばらく一緒に唱和していなかったことも違和感の原因です。

「荒山優さんの法話」

「第一話」花が枯れる表現

①桜…散る。②椿…落ちる。③梅…こぼれる。牡丹、菊、紫陽花などなど。日本の伝統は、終わりを大切にする考え方がある。

親鸞の死観（終わりの思想）…

「臨終の善悪をばもうさず」（末燈鈔）

意味「終わりに臨むあり方は、選べない。」だからこそ、今を大切に生きるべきと述べる。

「第二話」私たちは、自分の思い込みで、相手に言葉をかけ、行動をしがちではないか？結果、相手を傷つけていないか？

親鸞は、これを「盲冥もうみょうという」言葉で説いている。意味、「見えないことに、気づけない」日常的に、良かれと思い、相手にかけた言葉でも、相手を深く傷つけていることに気づかず生活している。その具体的な事例を紹介して、ほんとうの思いやりのあり方を説かれ

これを「盲冥もうみょう」という言葉で説いている。意味、「見えないことに、気づけず生きる」、日常的に、良かれと思い、相手にかけた言葉でも、相手を深く傷つけていることに気づかず生活している。

その具体的な事例を紹介して、ほんとうの思いやりのあり方を説かれました。

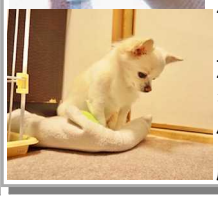
法要準備の苦労が報われました。

南無

令和７年の年忌一覧

１周忌・・・・	令和６年亡
３回忌・・・・	令和５年亡
７回忌・・・	平成３１年亡 令和元年
１３回忌・・	平成２５年亡
１７回忌・・	平成２１年亡
２３回忌・・	平成１５年亡
２７回忌・・	平成１１年亡
３３回忌・・	平成５年年亡
４３回忌・・	昭和５８年亡
５０回忌・・	昭和５１年亡

※ご法事のご予定は、３ヶ月以上前にご予約をお願い申し上げます。

「今年もお世話になりました。浄恩寺をお支えいただき、御礼申しあげます。

日も短くなり、寒さも厳しくなってまいりました。一方で、コロナ感染もまた拡大しています。くれぐれも健康管理には気をつけて新年を元気におけ迎えください。合掌